

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号
特許第5114633号
(P5114633)

(45) 発行日 平成25年1月9日 (2013.1.9)

(24) 登録日 平成24年10月26日 (2012.10.26)

(51) Int.Cl.

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

F I

A 6 3 F 7/02 3 1 0 C

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

請求項の数 3 (全 14 頁)

(21) 出願番号	特願2007-257264 (P2007-257264)	(73) 特許権者	000132747
(22) 出願日	平成19年10月1日 (2007.10.1)		株式会社ソフィア
(62) 分割の表示	特願2004-323141 (P2004-323141)		群馬県桐生市境野町7丁目201番地
	の分割	(74) 代理人	100098073
原出願日	平成16年11月8日 (2004.11.8)		弁理士 津久井 照保
(65) 公開番号	特開2008-12345 (P2008-12345A)	(72) 発明者	井置 定男
(43) 公開日	平成20年1月24日 (2008.1.24)		群馬県桐生市宮本町3-7-28
審査請求日	平成19年10月1日 (2007.10.1)	(72) 発明者	田口 英雄
			群馬県桐生市境野町7丁目201番地 株
			式会社ソフィア内
		審査官	▲吉▼川 康史

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 遊技機

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の識別情報を変動表示する変動表示ゲームを行う変動表示装置を遊技盤の開口裏面側に配設した遊技機において、

前記変動表示装置の前面側に設けられ、前方を開放して箱状に形成された裏箱体と、
該裏箱体に複数収納され、当該遊技機を装飾する装飾部材を備えてユニット化された凹凸外形の装飾ユニットと、

を備え、

前記裏箱体の周壁には凹凸壁部を形成し、

前記裏箱体の凹凸壁部に凹凸外形の前記装飾ユニットを嵌合配置させるとともに、隣接する装飾ユニット同士をも凹凸嵌合させ、

前記装飾ユニットは、

透光性の部材により形成されたユニット本体と、

該ユニット本体の裏面側に配置された裏面側発光基板と、

前記ユニット本体の前面側に配置された蓋材と、

該蓋材に装着される前面側発光基板と、

前記蓋材の前面側で文字装飾の外形を構成するレンズ枠と、

前記前面側発光基板の前面に設けられ、前記レンズ枠内に収納されるレンズ部材と、
を備え、

前記前面側発光基板によって前記レンズ枠内の前記レンズ部材を介して、文字装飾が点

灯し、

前記裏面側発光基板によって前記ユニット本体表面を介して光を透過させることで、文字装飾の周囲部分が点灯することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

周壁部を前方に延出させて箱体状に形成された裏面構成部材を前記遊技盤の裏面に止着して備え、該裏面構成部材の裏面には前記変動表示装置を備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記変動表示装置の上方に位置し、前記変動表示装置の左右方向に沿って延在するとともに前記変動表示装置の前方へ向けて突設された鎧部を備え、

10

前記装飾ユニットを前記変動表示装置よりも上方であり、且つ前記鎧部よりも下方の位置に配置したことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の遊技機。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、パチンコ遊技機等の遊技機に関する。

【背景技術】

【0002】

従来の遊技機、例えばパチンコ遊技機には、遊技盤の遊技領域の略中央に開口を形成し、遊技盤の開口裏面側に、複数の識別情報を変動表示する変動表示ゲームを行う変動表示装置を配設し、遊技盤の前面側に、該変動表示装置の表示部が臨む表示用開口窓部を形成した前面構成部材を配設したものが知られている。

20

【0003】

近年、変動表示装置が大型化する傾向にあり、これに伴ってその包囲枠としての前面構成部材も大型化してきている。その上、前面構成部材には、取付ベースに対して発光部材や装飾部材等の多くの部材が取り付けられるように成っており、前面構成部材はより大型化する傾向にある。

【0004】

これに関連する技術として、例えば、特開 2004-57655 号公報（特許文献 1）には、前面構成部材が、遊技盤の開口に嵌装される取付ベースと、略額縁状の表示窓枠と、該表示窓枠の両側に位置する装飾ユニットと、装飾レンズ部材と、該装飾レンズ部材のレンズ部材を照射する発光ユニットとで構成され、左右の装飾ユニットは、所要の立体的な像に形成された立体装飾部材と、電氣的発光部材と、装飾取付ベースとを含むと共に、少なくとも前記表示窓枠の裏面側に前記装飾ベースを介して取り付けられ、前記発光ユニットは電氣的発光部材を含むと共に、前記取付ベースの裏面側に着脱可能に取り付けられる遊技機が提案されている。この発明によれば、開発期間の短縮やコスト削減、リサイクルの推進が簡単に行えるというものである。

30

【特許文献 1】特開 2004-57655 号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

40

【0005】

従来は、取付ベースに取り付ける発光部材や装飾部材等の各部材ごとに裏面カバー部材を取り付けていたので、組み立て作業性が悪かった。

【0006】

そこで、本発明は、上記の事情に鑑みてなされたものであり、その目的は、取り付け作業性の良い遊技機を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0007】

本発明は、上記目的を達成するために提案されたものであり、請求項 1 に記載のものは、複数の識別情報を変動表示する変動表示ゲームを行う変動表示装置を遊技盤の開口裏面

50

側に配設した遊技機において、

前記変動表示装置の前面側に設けられ、前方を開放して箱状に形成された裏箱体と、
該裏箱体に複数収納され、当該遊技機を装飾する装飾部材を備えてユニット化された凹凸外形の装飾ユニットと、

を備え、

前記裏箱体の周壁には凹凸壁部を形成し、

前記裏箱体の凹凸壁部に凹凸外形の前記装飾ユニットを嵌合配置させるとともに、隣接する装飾ユニット同士をも凹凸嵌合させ、

前記装飾ユニットは、

透光性の部材により形成されたユニット本体と、

該ユニット本体の裏面側に配置された裏面側発光基板と、

前記ユニット本体の前面側に配置された蓋材と、

該蓋材に装着される前面側発光基板と、

前記蓋材の前面側で文字装飾の外形を構成するレンズ枠と、

前記前面側発光基板の前面に設けられ、前記レンズ枠内に収納されるレンズ部材と、
を備え、

前記前面側発光基板によって前記レンズ枠内の前記レンズ部材を介して、文字装飾が点灯し、

前記裏面側発光基板によって前記ユニット本体表面を介して光を透過させることで、文字装飾の周囲部分が点灯することを特徴とする遊技機である。

【0008】

請求項2に記載のものは、周壁部を前方に延出させて箱体状に形成された裏面構成部材を前記遊技盤の裏面に止着して備え、該裏面構成部材の裏面には前記変動表示装置を備えたことを特徴とする請求項1に記載の遊技機である。

【0009】

請求項3に記載のものは、前記変動表示装置の上方に位置し、前記変動表示装置の左右方向に沿って延在するとともに前記変動表示装置の前方へ向けて突設された鍔部を備え、

前記装飾ユニットを前記変動表示装置よりも上方であり、且つ前記鍔部よりも下方の位置に配置したことを特徴とする請求項1または請求項2に記載の遊技機である。

【発明の効果】

【0010】

本発明の遊技機によれば、次のような優れた効果を奏する。

即ち、裏箱体に装飾ユニットを収納して遊技盤に組み付けるようにしたので、各装飾ユニットのそれぞれに裏面カバー部材を取り付ける必要がなく、遊技盤への取り付け作業性が良い。

【発明を実施するための最良の形態】

【0011】

以下、代表的な遊技機であるパチンコ遊技機を例に挙げて、本発明を実施するための最良の形態を図面に基づいて説明する。図1はパチンコ遊技機の遊技盤1の正面図である。

パチンコ遊技機の遊技盤1は、図1に示すように、合板やプラスチック等からなる矩形状の遊技盤本体2の表面に、ガイドレール5や遊技領域区画部材6等を止着することで略円形状の遊技領域7を区画形成している。そして、遊技盤1は、この遊技領域7内において、略中央からガイドレール5とは反対側（図中右側）に亘って前面構成部材（センターケース）8を配設し、該前面構成部材8の後方には、遊技領域7の略中央に位置するように複数の識別情報を変動表示する変動表示ゲームを行う変動表示装置（画像表示装置）9を備えている。また、遊技盤1は、変動表示装置9の下方にチューリップタイプの変動表示始動口10を配設し、該始動口10の下方に、変動表示装置9の作動結果によって遊技球を受け入れない状態と受け入れ易い状態とに変換可能な特別変動入賞装置（大入賞口）11を配設している。さらに、遊技盤1は、特別変動入賞装置11の側方には補助変動表示を行う補助変動表示装置15を配設し、前記センターケース8の左側には補助変動表示

10

20

30

40

50

の始動ゲート 1 6 を配設している。そして、遊技盤 1 は、この他に、一般入賞口 2 1、遊技球の流下方向を変える風車 2 2 や障害釘 2 3、発光により各種の装飾表示を行うランプ・LED（図示せず）、及び入賞せずに流下した遊技球を回収するアウト口 2 4 を設けている。

【0012】

次に、図 2 はパチンコ遊技機の遊技盤、前面構成部材及び裏面構成部材を示す斜視図であり、図 3 は裏箱体の前面に取付基板体を取り付け、その内部に装飾ユニットを収納した状態を示す斜視図である。また、図 4 は取付基板体及び裏箱体、これらの間に収納する装飾ユニットを前方から見た状態を示す分解斜視図であり、図 5 は後方から見た状態を示す分解斜視図である。さらに、図 6 は裏箱体に装飾ユニットを配置した状態を示す斜視図である。

10

【0013】

図 2 に示すように、遊技盤 1 の遊技領域 7 の略中央には前記前面構成部材 8 の外形形状に対応した開口 3 1 を形成してあり、前記遊技盤 1 の開口裏面側に前記変動表示装置 9 を後面に備えた裏面構成部材 3 2 を配設し、前記遊技盤 1 の開口前面側に該変動表示装置 9 の表示部 2 9 が臨む表示用開口窓部 3 3 を形成した前面構成部材 8 を配設している。

【0014】

裏面構成部材 3 2 は、後面中央部に液晶表示装置等の変動表示装置 9 を備え、その周壁部 3 6 を前方に延出させた箱体状の部材であり、取付片 3 7 を遊技盤 1 の裏面に当接させて、遊技盤 1 の裏面側から止着固定する。

20

【0015】

ここで、変動表示装置 9 は、例えば、複数の変動表示領域（左側、中央、右側の 3 つの可変表示領域等）を設定して各表示領域の各々で独立して画像表示がなされる表示装置であって、本実施形態では、例えば、任意の画像を表示可能な LCD（液晶表示器）等で表示画面部分が構成され、この表示画面上の複数の変動表示領域には複数の識別情報（図柄）を変動表示する変動表示ゲーム等、遊技の進行に基づく画像が表示される。したがって、本実施形態は、前記始動入賞口 1 0 への入賞等の始動条件の成立に基づいて変動表示装置 6 にて識別情報を変動表示する変動表示ゲームを実行し、該変動表示ゲームが特定の結果態様を成立することに関連して所定の遊技価値が付与されるように成っている。

【0016】

30

前面構成部材 8 は、図 2 から図 5 に示すように、遊技盤 1 に形成された開口 3 1 に該遊技盤 1 の前方から嵌装される部材であって、該前面構成部材 8 の前面部分を構成する取付基板体 4 0 と、該取付基板体 4 0 の裏面側に設けられる裏箱体 4 1 と、該裏箱体 4 1 の前面に前記取付基板体 4 0 を取り付けて、その内部に収納される装飾ユニット 4 3 とを備えている。

【0017】

裏箱体 4 1 は、前記遊技盤 1 の開口 3 1 に嵌装され、前方を開放した箱状ユニット（裏箱ユニット）であって、後方の壁に長方形の表示用開口窓部 3 3 が形成されて略額縁状を呈しており、前記裏面構成部材 3 2 に内装するように装着されることにより、前記表示用開口窓部 3 3 から前記変動表示装置 9 の表示部 2 9 を臨ませるように成っている。この裏箱体 4 1 の周囲の適宜位置には、この前面に前記取付基板体 4 0 を取り付けるためのネジ等の止着部材を止着する止着部 4 4 が配設されている。

40

【0018】

取付基板体 4 0 は、前記表示用開口窓部 3 3 よりも大きい開口部 4 6 が形成された異形枠体状のユニット（取付基板ユニット）であって、その周囲に沿って前記遊技盤 1 に取り付ける取付基板 4 7 を有しており、その適宜位置には止着部材を止着する止着部 4 8 が形成されている。図 3 に示すように、この取付基板 4 7 の前面側上部には、左右全幅に亘って庇状の鍔部 5 1 を変動表示装置 9 の左右方向に沿って延在させるとともに変動表示装置 9 の前方へ向けて突設し、該鍔部 5 1 の左右傾斜端部から下方に縦長の側辺部 5 2、5 2 を突設し、左右の側辺部 5 2、5 2 の下端同士を接続する状態で底部 5 3 を突設し、この

50

取付基板体 40 を前記裏箱体 41 の前面に取り付けることにより、前記鍔部 51、左右側辺部 52、52、及び底部 53 に囲まれた凹室 54 を形成している。この凹室 54 の奥の面に前記表示用開口窓部 33 が配設されており、鍔部 51 は、上面が中央の円弧状の振り分け凸部 55 から左右方向に向けて緩やかに下り傾斜している。そして、前記取付基板 47 の後部には取付支持部 56 が前記鍔部 51 と連続するように一体成形されており、該取付支持部 56 は前記取付基板 47 から遊技盤 1 内へ臨むように後方へ向けて突設されている。前記凹室 54 の底部には、遊技球を転動可能な第 1 ステージ 61 が設けられるとともに、この第 1 ステージ 61 の前面側下方には遊技球を転動可能な第 2 ステージ 62 が設けられ、第 1 ステージ 61 と第 2 ステージ 62 とは起立壁 63 により隔てられている。

【0019】

10

第 1 ステージ 61 は、前記裏箱体 41 の底部に形成され、遊技球を転動可能な案内棚を構成しており、左右方向両側に曲率の小さな円弧状の凹面 65、65 を、中央部に曲率の大きな円弧状の凸面 66 を形成するような波形状の転動面を有している。円弧状の凹面 65、65 の谷部には前面側へ向けて下り傾斜した球案内部 67、67 が形成されており、円弧状の凸面 66 の中央部には第 1 の導入口 68 が開口され、この導入口 68 は誘導路（図示せず）に連通している。

【0020】

また、第 2 ステージ 62 は、前記取付基板体 40 の底部に形成され、遊技球を転動可能な案内棚を構成しており、第 1 ステージ 61 と同様に、左右方向両側に曲率の小さな円弧状の凹面 75、75 を、中央部に曲率の大きな円弧状の凸面 76 を形成するような波形状の転動面を有している。円弧状の凹面 75、75 の谷部には前面側へ向けて下り傾斜した球案内部 77、77 が形成されており、円弧状の凸面 76 の中央部には第 2 の導入口 78 が開口され、この導入口 78 は前記誘導路に連通している。この誘導路は、前面側へ向けて下り傾斜しており、その傾斜下端部は前記取付基板体 40 の下部中央に開口した導出口 79 に連通することになり、該導出口 79 は前記始動入賞口 10 の直上に配置される。

20

なお、第 1 ステージ 61 上に遊技球をワープさせるワープ装置については、説明の都合上、後で詳述する。

【0021】

また、前記取付基板体 40 には、前記ガイドレール 5 によって区画され、前記発射装置により発射された遊技球を導入部から遊技領域に案内する発射球案内通路 13（図 1 参照）が形成されており、その反対側に位置する前記取付基板 47 を前記鍔部 51 から右側の前記遊技領域区画部材 6 側へと延出させて、外形が前記遊技領域区画部材 6 に沿って円弧状に形成される取付基板延出部 81 を設けている。この取付基板延出部 81 は、前記裏箱体 41 との間に収納される前記装飾ユニット 43 の前面を覆っており、例えば、無色透明の合成樹脂材により形成され、後方の装飾ユニット 43 が視認可能なカバー部材を構成している。なお、この取付基板延出部 81 は無色透明の部材に限るものではなく、後方の装飾ユニット 43 が視認可能であれば、有色透明または半透明等であってもよい。また、取付基板延出部 81 は、その前方を遊技球が流下可能に形成され、遊技球が通過し得る幅を有しており、前述したように、外形が前記遊技領域区画部材 6 に沿った円弧状を呈しているので、前記鍔部 51 の振り分け凸部 55 によって右方向に振り分けられた遊技球が該取付基板延出部 81 の前面に沿って円滑に流下するように成っている。即ち、図 1 に示すように、前記取付基板体 40 を遊技盤 1 に取り付けると、取付基板延出部 81 の円弧状の外周部は前記遊技領域区画部材 6 の上部から右側部分に亘って当接されることになり、この遊技領域区画部材 6 と該取付基板延出部 81 の内周部を区画する前記右側辺部 52 との間を遊技球が流下することになる。したがって、取付基板延出部 81 の後方に装飾ユニット 43 を配置しても、該取付基板延出部 81 を後方の装飾ユニット 43 が視認可能な部材により形成し、且つ、該取付基板延出部 81 の前方を遊技球が流下可能であるので、装飾領域を実質的に拡大できるとともに、拡大した装飾領域の前を遊技球が通過でき、装飾効果を高めつつ遊技の興趣を高めることができる。

30

40

【0022】

50

さらに、図 1 において、前記遊技領域区画部材 6 の前記発射球案内通路 1 3 の先端の導入部 1 7 と対向する側部には、前記取付基板延出部側へ突出した当て板部材 8 5 を配設して、前記遊技領域区画部材 6 に沿って進行した遊技球が衝突して流下方向を変換するように、前記遊技領域区画部材 6 の一部を屈曲させた段部 8 6 が形成しており、この段部 8 6 の衝突面にはゴム等の緩衝部材（図示せず）を装着している。そして、前記取付基板延出部 8 1 の遊技球の通過の妨げとならない位置に、本実施形態では取付基板延出部 8 1 の上部に、前方に突出する装飾部 8 7 を備えており、この装飾部 8 7 は、前記遊技領域区画部材 6 の段部 8 6 から前記導入部 1 7 の方向へ向けて円弧状に該遊技領域区画部材 6 に沿って配設されている。そして、該取付基板延出部 8 1 の下部には、装飾の施された複数の流下方向変換部材 9 1 が互い違い（千鳥状）に配設されており、さらにその下方には風車 9 2 が配設されている。このように、本実施形態においては、前記取付基板延出部 8 1 を鍔部 5 1 から右側の遊技領域区画部材 6 側へと延出させて拡大しており、この拡大した取付基板延出部 8 1 の遊技球の通過の妨げとならない位置に装飾部 8 7 を備えているので、装飾領域をさらに拡大することができ、さらに、該取付基板延出部 8 の下部に装飾の施された複数の流下方向変換部材 9 1 や風車 9 2 を配設しているので、装飾効果を高めつつ遊技の興趣を高めることができる。

10

【0023】

次に、裏箱体と装飾ユニットについて説明する。

図 6 は裏箱体に装飾ユニットを配置した状態を示す斜視図であり、図 7 は裏箱体の凹凸壁部及び装飾ユニットの凹凸形状を裏面側から見た状態を示す縦断面図である。また、図 8 は上装飾ユニットの駆動部分を示す斜視図であり、図 9 は右装飾ユニットの駆動部分を示す斜視図である。

20

【0024】

前述したように、前記裏箱体 4 1 の前面に前記取付基板体 4 0 を取り付けて、これらの内部空間に装飾ユニット 4 3 を収納している。具体的に説明すると、裏箱体 4 1 は、表示用開口窓部 3 3 の周縁と当該裏箱体 4 1 の周壁（後述の凹凸壁部 1 0 1）との間に装飾ユニット配置空間 9 4 を形成し、該装飾ユニット配置空間 9 4 内に装飾ユニット 4 3 を配置している。装飾ユニット 4 3 は、図 4 及び図 5 に示すように、本実施例では、上装飾ユニット 9 5、左装飾ユニット 9 6 及び右装飾ユニット 9 7 から構成され、それぞれ歯車やピストン等の機械の内部構造を暗示させるような装飾が施されている。図 6 に示すように、上装飾ユニット 9 5、左装飾ユニット 9 6 及び右装飾ユニット 9 7 は、それぞれ前記裏箱体 4 1 内の上部分、左側部分及び右側部分に、該裏箱体 4 1 の周壁としての凹凸壁部 1 0 1 に当接させた状態で配置する。即ち、図 7 に示すように、この凹凸壁部 1 0 1 において、上部壁部 1 0 2 は前記上装飾ユニット 9 5 の上部分の外形に対応する凹凸形状を有し、左側壁部 1 0 3（図 7 では右側部分）は前記左装飾ユニット 9 6 の左側部分の外形に対応する凹凸形状を有し、右側壁部 1 0 4（図 7 では左側部分）は前記右装飾ユニット 9 7 の右側部分の外形に対応する凹凸形状を有している。また、左右に隣接する上装飾ユニット 9 5 と左装飾ユニット 9 6 との隣接部分 1 0 5、1 0 6 には、凹凸形状を付与している。さらに、上下に隣接する上装飾ユニット 9 5 と右装飾ユニット 9 7 との隣接部分 1 1 1、1 1 2 にも凹凸形状を付与している。そして、各凹凸壁部 1 0 2、1 0 3、1 0 4 の凹凸形状に適合するように各装飾ユニット 9 5、9 6、9 7 の外形位置を調整することにより、各装飾ユニット 9 5、9 6、9 7 を嵌合配置している。

30

40

【0025】

このように、裏箱体 4 1（詳しくは裏箱体 4 1 の周壁）に凹凸壁部 1 0 2、1 0 3、1 0 4 を形成し、該凹凸壁部 1 0 2、1 0 3、1 0 4 に凹凸外形を有する装飾ユニット 9 5、9 6、9 7 を嵌合配置させるとともに、隣接する装飾ユニット同士をも凹凸嵌合させるので、前記前面構成部材 8 の全体剛性を確実に向上させることができる。

【0026】

なお、図 8 に示すように、上装飾ユニット 9 5 の装飾部材は、例えば、3 連のピストン 1 2 1 と装飾歯車 1 2 2 と、装飾のための発光体（LED）およびレンズ（何れも図示せ

50

ず) とから成ってユニット化されており、これらはモータ 1 2 3 により駆動される主ギヤ機構 1 2 4 を介して動作するように構成されている。また、図 6 に示すように、左装飾ユニット 9 6 の装飾部材は、例えば、漫画のキャラクター名を表す文字装飾 1 2 5 が施されている。さらに、図 9 に示すように、右装飾ユニット 9 7 の装飾部材は、例えば、トランス 1 3 0、装飾歯車群 1 3 1 及びクランク機構 1 3 2、装飾のための発光体 (LED) およびレンズ (何れも図示せず) から成ってユニット化されており、複数の歯車 1 3 1 及びクランク機構 1 3 2 は前記主ギヤ機構 1 2 4 に噛合する従ギヤ機構 1 3 3 を介して動作するように構成されている。

【0027】

次に、ワープ装置について説明する。

図 10 はワープ装置を示す要部断面図であり、図 11 は左装飾ユニットを示す分解斜視図である。

前述したように、前面構成部材 8 の内部には凹室 5 4 が形成されており、その底部には遊技球を転動させる前記第 1 ステージ 6 1 及び第 2 ステージ 6 2 が配設されている。この前面構成部材 8 には、前記遊技盤 1 の遊技領域 7 を流下する遊技球を流入口 1 4 1 から受け入れて流下路 1 4 2、1 4 3 を流下させ前記凹室 5 4 内の所要部位に設けられた流出口 1 4 4 から該凹室 5 4 の底部に形成した前記第 1 ステージ 6 1 に案内するワープ装置 1 4 0 が備えられている。図 10 に示すように、このワープ装置 1 4 0 の前記流入口 1 4 1 と、該流入口 1 4 1 から後方に遊技球 1 5 1 を流下させる後方流下路 1 4 2 とは、前記取付基板体 4 0 に形成してあり、前記後方流下路 1 4 2 と連通し遊技球 1 5 1 を下方へ流下させる下方流下路 1 4 3 と、該下方流下路 1 4 3 の下方端部に設けられた前記流出口 1 4 4 とは、前記左装飾ユニット 9 6 に形成してある。

【0028】

具体的には、図 1 及び図 3 に示すように、前記流入口 1 4 1 は取付基板体 4 0 の左側側辺部 5 2 における前記始動ゲート 1 6 の右斜め下方に位置しており、前面構成部材 8 の左側の遊技領域 7 を流下する遊技球を受け入れる左斜め上方へ臨んで開口している。そして、該流入口 1 4 1 の後方に延出された後方流下路 1 4 2 は、その底部が後方へ向けて下方に傾斜して形成され、流入口 1 4 1 に入った遊技球 1 5 1 を後方へ転動させるように成っている。さらに、図 10 及び図 11 に示すように、この後方流下路 1 4 2 に連通する下方流下路 1 4 3 は、左装飾ユニット 9 6 のユニット本体 1 5 5 の下部に位置する下方延出部 1 5 6 の前面中間部に連通部 1 5 7 を開口しており、その下端部まで垂下して該下方延出部 1 5 6 の右側面下端部に前記流出口 1 4 4 を開口しており、図 3 に示すように、該流出口 1 4 4 は第 1 ステージ 6 1 の左端部に臨むように配されている。このユニット本体 1 5 5 の下方延出部 1 5 6 に形成された下方流下路 1 4 3 の後面は裏蓋 1 5 8 によって覆われている。このように、前記取付基板体 4 0 に、流入口 1 4 1 と、該流入口 1 4 1 から後方に遊技球を流下させる後方流下路 1 4 2 とを形成するとともに、前記左装飾ユニット 9 6 に、前記後方流下路 1 4 2 と連通し遊技球を下方へ流下させる下方流下路 1 4 3 と、該下方流下路 1 4 3 の下方端部に設けられた流出口 1 4 4 とを形成したので、簡単な構造で、前面構成部材 8 の剛性を保ったままワープ装置 1 4 0 を構成することができる。

【0029】

なお、各装飾ユニット 9 5、9 6、9 7 は複数の部品を組み合わせでユニット化されており、例えば、左装飾ユニット 9 6 は、ユニット本体 1 5 5 が有色透明の合成樹脂材等の透光性の部材により形成され、その裏面側に裏面側発光基板 1 6 0 を備えるとともに、その前面側に前記ユニット本体 1 5 5 の前面部に形成された凹部 1 6 1 に係合する異形箱体状の装飾部品 1 6 2、ユニット本体 1 5 5 の前面側に装着されて装飾部品 1 6 2 を覆う蓋材 1 6 3、該蓋材 1 6 3 に装着される前面側発光基板 1 6 4、該発光基板 1 6 4 の前面に設けられ、レンズ枠 1 6 7 内 (詳しくは、蓋材 1 6 3 の前面側で文字装飾 1 2 5 の外形を構成するレンズ枠 1 6 7 の内側) に収納されるレンズ部材 (後側レンズ部材 1 6 5 及び前側レンズ部材 1 6 6) を順次備えて、前記文字装飾 1 2 5 を構成しており、前面側発光基板 1 6 4 によって後側レンズ部材 1 6 5 及び前側レンズ部材 1 6 6 を介して文字装飾 1 2

10

20

30

40

50

5が点灯し、前記裏面側発光基板161によって前記ユニット本体155における文字装飾125の周囲部分が点灯するように成っている。即ち、図4、図11等に示すように、レンズ枠167は蓋材163の前面側で文字装飾の外形を構成し、前面側発光基板164からの光がレンズ部材165、166を透過して文字装飾を点灯すると共に、裏面側発光基板160からの光が蓋材163を除く当該ユニット本体155表面を透過して文字装飾の周囲部分を点灯して装飾効果を高めている。

【0030】

次に、図1、図3及び図10を用いて、以上の如く構成された本実施形態のパチンコ遊技機の作用について説明する。

図1及び図3に示すように、前記発射装置により発射された遊技球は発射球案内通路13を経て、前記導入部17から遊技領域7の上部に飛入し、前面構成部材（センターケース）8の鍔部51の上面に流下すると、振り分け凸部55によって左側あるいは右側に振り分けられることとなり、前面構成部材8の側辺部52、52の外側に位置する左側の遊技領域7または取付基板延出部81の前面を流下する。そして、左側の遊技領域7を流下する遊技球は、前面構成部材8の左側の側辺部52に開口されたワープ流路140の流入口141に流入し得ることになる。

【0031】

図3及び図10に示すように、ワープ流路140の流入口141に遊技球151が流入すると、その後方に延出された後方流下路142及び下方流下路143を経て、該下方流下路143の下方端部に開口された流出口144から第1ステージ61の転動面の左端上に流下される。この第1ステージ61の転動面は、図3に示すように、左右方向の略中央部分に円弧状の凸面66を、該凸面66の左右両側方に円弧状の凹面65、65をそれぞれ備えて略波面状を呈しているのので、転動して次第に減勢されると前記凹面65、65に形成された球案内溝（落下許容部）67、67からその前面側下方に配置された第2ステージ62上に流下されることになる。なお、第1ステージ61の転動面の前記凹面65、65以外の部分の前面側には起立壁（落下規制部）63が形成されているので、遊技球の勢いが強すぎない限り、起立壁（落下規制部）63を乗り越えて第2ステージ62上に落下することはない。

【0032】

一方、第1ステージ61の転動面を転動する遊技球が円弧状の凸面66を通過する際に、その中央部に開口された第1の導入口68内に入ることがあり、該導入口68に入った遊技球は誘導路を通過して前記始動入賞口10の直上に位置する導出口79から流出し、始動入賞口10へ向けて流下することになる。

【0033】

また、第1ステージ61の前記落下許容部67、67から第2ステージ62へと落下した遊技球は、第1ステージ61を経ることによって減勢されているが、第2ステージ62の転動面が、図3に示すように、左右方向の略中央部分に円弧状の凸面76を、該凸面76の左右両側方に円弧状の凹面75、75をそれぞれ備えて略波面状を呈しているのので、さらに転動して減勢されることになる。そして、第2ステージ62の転動面を転動する遊技球は、前記凹面75、75に形成された球案内溝（落下許容部）77、77からその前面側下方へと流下し、前面構成部材8の下方へ落下する。

また、前面構成部材8の側方を流下した遊技球が前面構成部材8の下方の障害釘23に弾かれて第2ステージ62に到達すると、この遊技球は、円弧状の凸面76を通過する際に、その中央部に開口された第2の導入口78内に入ることがある。該導入口78に入った遊技球は誘導路を通過して前記始動入賞口10の直上に位置する導出口79から流出し、始動入賞口10へ向けて流下することになる。

【0034】

そして、本実施形態では、例えば、前記右装飾ユニット97の装飾歯車群131及びクランク機構132は常時作動させ、前記上装飾ユニット95の3連のピストン121及び装飾歯車122は大当たり予告時又はリーチ予告時に作動させるように成っており、これ

により装飾効果をより高めることができる。したがって、遊技者は左装飾ユニット９６の文字装飾１２５の点灯や上装飾ユニット９５及び右装飾ユニット９７の動作だけでなく、遊技球の案内過程をも併せて楽しむことができ、又、前記導出口７９から流下した遊技球を下方の入賞領域へと案内して、始動入賞口１０への入賞の可能性を期待させることにより、遊技の興趣を高めることができる。

【００３５】

以上のように構成された本実施形態のパチンコ遊技機によれば、裏箱体４１の前面に取付基板体４０を取り付けて、その内部に上装飾ユニット９５、左装飾ユニット９６及び右装飾ユニット９７を収納して遊技盤１の開口３１に嵌装して組み付けるようにしたので、これらのユニットによって構成される前面構成部材８の剛性を高めることができ、前面構成部材自体の破損や遊技盤１の歪みを防止することができる。また、裏箱体４１に各装飾ユニット９５、９６、９７を配置するので、それぞれに裏面カバー部材を取り付ける必要がなく、遊技盤１への取り付け作業性が良いものである。

10

【００３６】

上記した実施形態は、代表的な遊技機であるパチンコ遊技機を例にして説明したが、本発明はこれに限らず、変動表示装置を遊技盤の開口裏面側に配設し、該変動表示装置の表示部が臨む表示用開口窓部を形成した前面構成部材を遊技盤の前面側に配設した遊技機であれば、例えば、内部に封入した遊技球を循環させる封入球式パチンコ機、アレンジボール式遊技機、雀球式遊技機等の遊技機であってもよい。

【００３７】

20

上記した実施の形態は全ての点で例示であって制限的なものではないと考えられるべきである。本発明は、上記した説明に限らず特許請求の範囲によって示され、特許請求の範囲と均等の意味及び範囲内での全ての変更が含まれるものである。

【図面の簡単な説明】

【００３８】

【図１】パチンコ遊技機の遊技盤の正面図である。

【図２】パチンコ遊技機の遊技盤、前面構成部材及び裏面構成部材を示す斜視図である。

【図３】裏箱体の前面に取付基板体を取り付け、その内部に装飾ユニットを収納した状態を示す斜視図である。

【図４】取付基板体及び裏箱体、これらの間に収納する装飾ユニットを前方から見た状態を示す分解斜視図である。

30

【図５】取付基板体及び裏箱体、これらの間に収納する装飾ユニットを後方から見た状態を示す分解斜視図である。

【図６】裏箱体に装飾ユニットを配置した状態を示す斜視図である。

【図７】裏箱体の凹凸壁部及び装飾ユニットの凹凸形状を裏面側から見た状態を示す縦断面図である。

【図８】上装飾ユニットの動作部分を示す斜視図である。

【図９】右装飾ユニットの動作部分を示す斜視図である。

【図１０】ワープ装置を示す要部断面図である。

【図１１】左装飾ユニットを示す分解斜視図である。

40

【符号の説明】

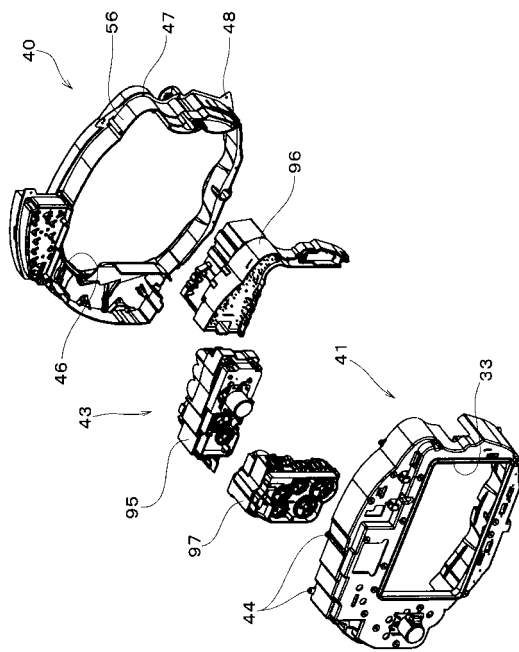
【００３９】

- １ 遊技盤
- ７ 遊技領域
- ８ 前面構成部材（センターケース）
- ９ 変動表示装置
- ２９ 表示部
- ３１ 開口
- ３２ 裏面構成部材
- ３３ 表示用開口窓部

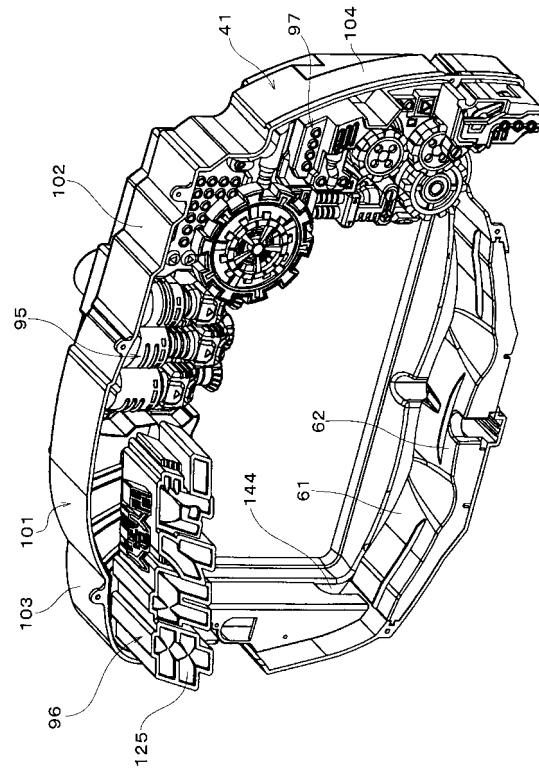
50

3 6	周壁部	
4 0	取付基板体	
4 1	裏箱体	
4 3	装飾ユニット	
4 6	開口部	
4 7	取付基板	
5 1	鎧部	
5 2	側辺部	
5 3	底部	
5 4	凹室	10
6 1	第 1 ステージ	
6 2	第 2 ステージ	
8 7	装飾部	
9 4	装飾ユニット配置空間	
9 5	上装飾ユニット	
9 6	左装飾ユニット	
9 7	右装飾ユニット	
1 0 1	凹凸壁部（周壁）	
1 0 2	上部壁部	
1 0 3	左側壁部	20
1 0 4	右側壁部	
1 0 5, 1 0 6	隣接部分	
1 1 1, 1 1 2	隣接部分	
1 4 1	流入口	
1 4 2	後方流下路	
1 4 3	下方流下路	
1 4 4	流出口	
1 5 1	遊技球	

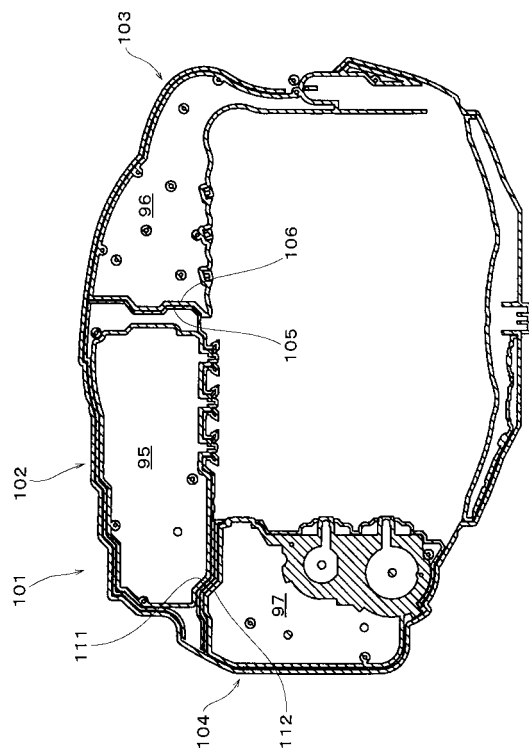
【図 5】



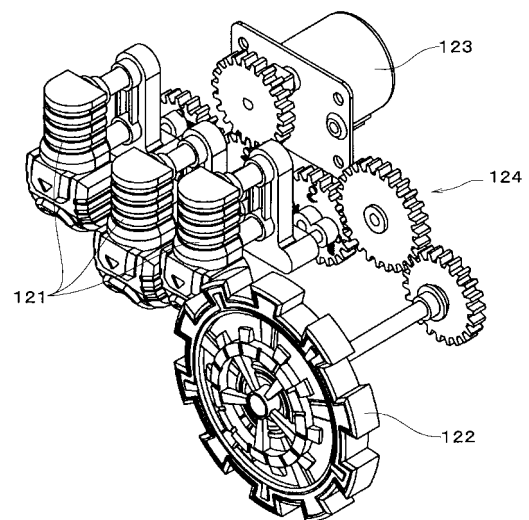
【図 6】



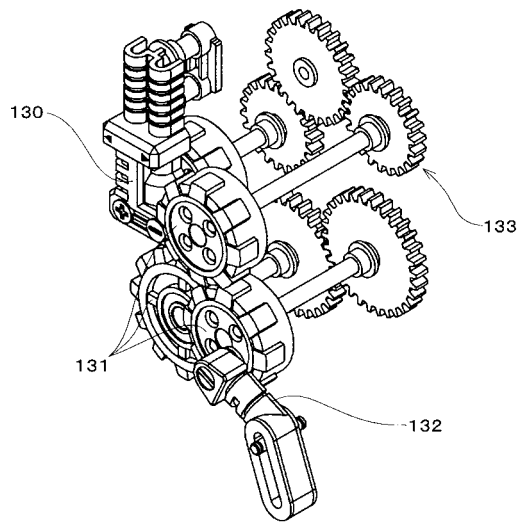
【図 7】



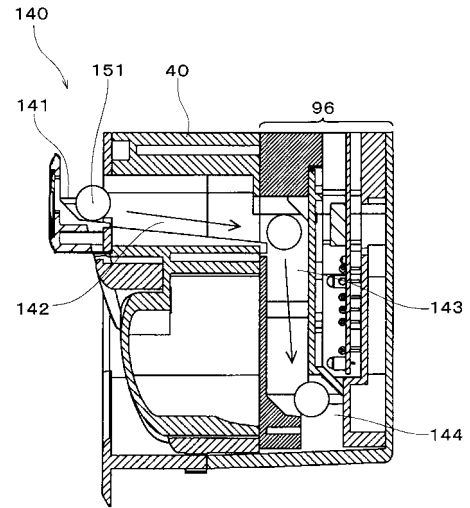
【図 8】



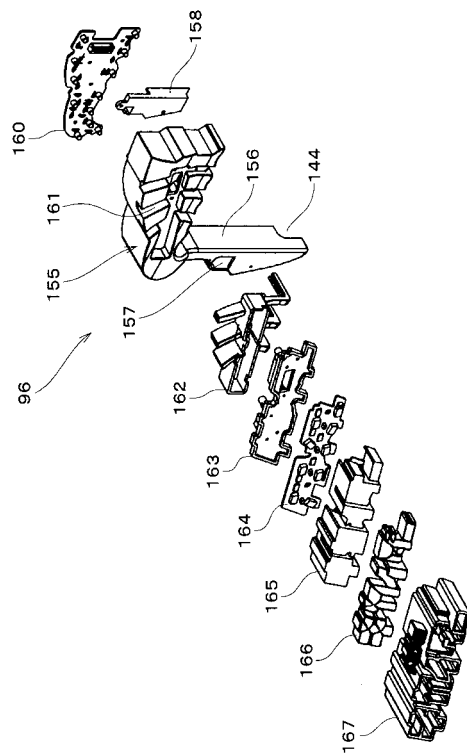
【図 9】



【図 10】



【図 11】



フロントページの続き

- (56)参考文献 特開平09-308743 (JP, A)
特開2004-283219 (JP, A)
特開平07-255909 (JP, A)
特開2004-049411 (JP, A)
特開2006-130107 (JP, A)
特開2003-199899 (JP, A)

- (58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
A63F 7/02